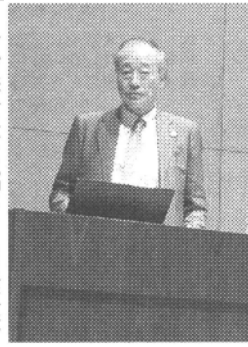


環境変動に対応を

ミラクルソル協が 技術研修会を開催

ミラクルソル協会(原裕理事長)は25日、佐賀県唐津市の唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」で、2018年度第26回「環境と防災と維持管理」技術研修会を開いた。発注機関、コンサルタント、建設会社、技術者ら多数が参加した。



原理事長は、「多目的環境材料ミラクルソルの活用技術」をテーマに講演した。大規模な自然災害が多発している状況を説明し、「地球環境の変動に対応できない企業は取り残される。もろづくりの技術力アップが必要」と訴えた。具体的に、水質浄化や環境緑

化、軽量盛土材に活用できるミラクルソルの施工事例として、マグロの陸上養殖や道路・斜面災害からの復旧、屋上緑化などを紹介した。写真。

引き続き、日特建設技術本部設計部の佐藤康弘部長、国土防災技術佐賀支店の井上太郎支店長、岡三リビックの小浪岳治執行役員技術開発部長がそれぞれ講演した。水と土と緑の環境を創出するミラクルソル、ジオファイバー、ニューレスプの3工法、SSLアンカー工法を取り上げたパネルディスカッションも行った。

CPDS(継続学習制度)
・CPD(継続能力開発)認定講習で、佐賀県ジオファイバー協会、佐賀県ニューレスプ協会が共催した。